

改善をなし続ける – 医療施設が考えるための更なる活動

もしあなた方の医療施設が、手指衛生改善戦略がうまく確立しているなら、その機運を維持し、改善を続けることが重要です。

そのような医療施設は、手指衛生を「患者安全の最優先事項」とし続けることを確実なものすることに関する長期の戦略と行動計画をすでに持っていると思われる。長期計画は、認識を高め続けることに寄与し、資金提供を確保することを援助し、持続的な改善を助けます。

あなた方の医療施設は、すでに世界保健機関の多様な手指衛生改善戦略の5つの要素と次のことに取り組んでいるでしょう：必要なインフラストラクチャーを確立した；医療従事者のための包括的なトレーニング・プログラムを提供した；手指衛生と医療関連感染(HCAI)の定期的な監視と評価のための計画を持っている；現場で明確なリマインダーを持っている；そしてあなた方の取り組みに対して強い実証可能なリーダーシップと支持がある。

この文書は、あなた方の成果を足場とし、勢いを維持し持続可能性を求める実行を考える追加の活動とツールのいくつかの示唆を提供します。それは、同様に他の施設があなた方の経験から学ぶのを助けるように意図されます。WHOの最初の世界的な患者安全の挑戦チームは、これらの取り組み、あるいはここでは列挙されていない全ての他の補足の取り組みを実行するための全ての計画を知ること非常に興味を持っています。

可能性のある追加のツールと活動のリストは完全ではありません。

活動	詳細
e-ラーニング・ツール	<p>多くの現在のトレーニング・プログラムはトレーナーと訓練生間の対面相互作用を取り入れています。このような訓練の全てが、完全にオンライン器材と置き換えられるわけではありません。例えば、どのように手指擦式あるいは手洗いをを行うかの実践的なワークショップやトレーニングは、個人的な相互作用と議論を通して最大に達成できます。</p> <p>もし医療従事者の大部分が受けなければならないのなら、e-ラーニングは特に有効かもしれません。通信教育のこの形式はまた、教師の時間とエネルギー投資を減少させ、学習プロセスを簡単に監視するのに非常に有利です。</p> <p>医療とケア領域での成功したe-ラーニング・プログラムは、伝統的なトレーニング（教室とインターネットを組み合わせたブレンドラーニング）と一緒に使用され、最近報告されています。e-ラーニングは、古典的教育方法を補完し、それらと共にあり続ける戦略であるべきです。</p> <p>e-ラーニングの制約は、限定した基本的なコンピュータ・スキルやいくつかの医療施設内でのパソコンやインターネットへのアクセス制限に関係しています。e-ラーニング・モジュールの制作は、トレーナーによる特定のコンピテンシーを必要とする大変時間のかかるものかもしれません。</p> <p>訓練生が便利のようにオンラインで見られるかダウンロードされるのに適当であろうトレーニングの要素として：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 医療関連病原体の伝播の背景 ➤ 世界中の医療関連感染のバーデン・・・（訳者注：バーデンに関してはWHO手指衛生ガイドライン要約版の日本語訳の最初の部分を参照） ➤ 医療関連感染のバーデンとあなた方の施設でなされた改善のこれへの影響 ➤ あなた方の施設で手指衛生改善の取り組みを高めることへの医療従事者の期待 ➤ 「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチのシミュレーション ➤ 観察者コンピテンシーを促進するための臨床実施に関連するシミュレーション ➤ その他のシナリオ・ベース作業 <p>e-ラーニング資料の利点として：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 訓練生の都合に合わせて閲覧できる ➤ いったん作れば、その後のコストは少なくすむ ➤ このように個々の新参者トレーニング・セッションを準備する必要性とコストをかけず、訓練生がトレーニング・セッションを受け損なうことなく、全ての新しい医療従事者に直ちに利用してもらえる ➤ 他の医療施設が手指衛生を改善することを援助するためにすぐに共有できる ➤ 動機づけとフィードバックの資源として役立てられる

活動	詳細
<p>シンポジウム、講義、討論</p>	<p>医療関連感染予防と手指衛生における主要問題についての講義やシンポジウムは、特に、もし臨床転帰への影響が示されれば、医療従事者にやる気にさせることを助け、「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチへの順守の重要性を思い出せるのに役立つかもしれません。</p> <p>医療従事者の参加を求め、討論のためのフォーラムを提供し、どのように医療従事者の努力が順守率を上げ、医療関連感染を下げ、もしデータが利用できるなら、罹患率あるいは死亡率を減少させたかを示すことは、進行中の動機づけと支持を援助することができます。</p> <p>可能性のあるトピックとしては：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 臨床の疾病の減少と清潔な手の持続的関連 — 混雑した場所での手指衛生の受け入れ ➤ 手指衛生：全ての医療従事者の一生の責任 ➤ 我々の施設で手指衛生システムは整った — 次は？ ➤ データ分析を継続し強化し、内部にフィードバックする ➤ 手指衛生の改善がどのように医療関連感染、罹患率と死亡率を施設で減少させたか — 手指衛生の改善で救った命の観点から見て ➤ もう一つの施設と「姉妹」施設となる — 我々の成功からどのように我々が学び、その他の利点を援助できるか ➤ 我々の施設で利用できる優れた資源と訓練で、「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチがどうして100%守られないのか？これは達成可能か、そしてそれは何時か？ ➤ 我々の施設で最も順守の難しい「瞬間」は何か？そしてそれは何故か？ ➤ 施設は手指衛生順守にどんな小さな違反も容赦しない政策（ゼロ・トレランス政策）を実行すべきか？ ➤ 医療従事者は手指衛生ガイドラインを守らないことに個人的に責任を持たせるようにすべきか？ ➤ どのように手指衛生の取り組みに患者参加と患者権限を与え強化するか？
<p>医療関連感染改善について記述されたあなた方の施設のデータの発表/出版</p>	<p>どのようにあなた方の施設が手指衛生改善を成し遂げ、特に、どのようにこれらの改善が患者安全と医療関連感染（と罹患率/死亡率）の減少に有利な風土を形成することに寄与したかのデータを共有する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 手指衛生の重要性を支持するため、増えている文献に加える ➤ 他の施設や医療従事者が、手指衛生の重要性を理解し、世界中で手指衛生を改善する効果的な行動計画を確立することを手助けする ➤ 優れた患者安全と感染管理基準を備えたセンターとしてのあなた方の施設のプロフィールを挙げる ➤ 手指衛生で、あなた方の医療従事者が努力を続ける意欲を援助する <p>論文審査される医学あるいは看護雑誌への原稿の提出あるいは、地域、全国あるいは国際的なカンファランスへの要約の提出は、進行中の手指衛生を推進し医療関連感染を減らす努力とコミュニケーションにおいて、WHO患者安全（チーム）あるいは、他の医療専門家や組織にとって利用される引用可能な参考資料を提供するので、特に重要です</p>
<p>手指衛生における討議資料</p>	<p>あなた方の施設での手指衛生改善のデータの発表に加えて、あなた方の医療従事者は同様に、手指衛生に関する目下の問題や一般的な患者安全活動領域での役割についてのレビュー、討議資料あるいは解説を書くことに興味があるかもしれません。これらの論文は現場、地域あるいは世界的な聴衆に関係する問題を案内できるかもしれません。</p>

活動	詳細
患者参加と患者権限	<p>手指衛生の責任は医療従事者に間違いなくあるのですが、全てを巻き込んだ多様な手指衛生改善戦略の一部として、よき手指衛生実施のための患者への積極的な働きかけを含め、手指衛生改善への患者参加は「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチの順守を改善できるでしょう。患者を考慮して正しい手指衛生を実行することは、ついでに言うとも患者の信頼を得ることに関係してきました。</p> <p>手指衛生の患者の認識と理解は、長期行動計画で考慮されるべき重要な局面です。しかしながら、患者参加と患者権限戦略の成功は、組織の全てのレベル横断的な医療従事者の完全なサポートが必要です。情報交換は、例えば患者への害を減らし、患者の完全な支持を得るなどの、戦略のゴールを医療従事者に再確認させるために必要でしょう。</p> <p>「WHO医療における手指衛生ガイドライン2009」は、主要な意思決定のための手指衛生改善の状況の中に患者権限が導入されることを提案しています。</p> <p>患者権限あるいは患者参加の取り組みとしては：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 医療従事者、地域の指導者、医療理念推進者、患者支援団体や助言者を含む個人的および組織的支援のための核となる支援ネットワークの設立 ➤ 長期的取り組みを支援するための資金提供のためのロビー活動をするよう患者組織を巻き込む ➤ 手指衛生の期待について患者に情報を与えるために施設での入院にあたって、また入院期間中の主要な点についておよび手指衛生推進を勇気づけ支援するため、患者に情報ちらし/ポスターを提供する ➤ 非専門観察者プロトコルの開発 <p>患者と患者組織に、どのように参加するかについて更なる詳細な案内を提供する文書「患者および患者組織を手指衛生の取り組みに参加させる案内」を同様に参照してください。</p>

活動	詳細
経験の共有： 組織内	<p>上級管理者あるいは高度に訓練された尊敬されている医療従事者に、彼らの手指衛生専門的知識を新人あるいは年下の医療従事者と分かち合うように勧めることは、やる気を起こさせ有益であり、主要因子の一つは「手指衛生順守に影響するWHO医療における手指衛生ガイドライン 2009」に概略が書かれています。特に、これは医療関係者の順守における肯定的な影響を持っていると記述されています。</p> <p>見込みのある活動のいくつかの例が以下に概略されます。</p> <p>バディ それぞれの新人医療従事者が以下について責任のある高度に訓練された医療従事者と組んで、「バディ」システムが実行される：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 手指衛生の重要性を強調し、「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチを説明する ➤ 施設の手指衛生の取り組み/政策及びガイドライン（及び不順守/順守に対する全ての罰則/報償）を説明する ➤ 手指衛生に合わせて作られた改善と医療関連感染、罹患率と死亡率を減少させた影響を示す施設データを共有する ➤ 手指衛生のための施設資源を示す ➤ 正しい手洗いと手指擦式手技を示し、手袋をいつ使うか説明する ➤ 新人職員に、関係する情報資源と訓練資料を提供する ➤ 進行中の観察とフィードバック・ループの部分として、「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチへの新人医療従事者の順守を監視し評価する <p>バディ・システムが、新人および訓練された職員の両方が適切な手指衛生を実施するために勇気づけやる気を起こさせる手伝いをします。</p> <p>組織内ニュースレター 医療従事者へのニュースレターは以下に利用できる：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 手指衛生の取り組みと改善についての最新の情報を提供する ➤ 特別に実行した症例、個人、チームあるいは病棟（すなわち、グッド・プラクティスと認識）に焦点を当てる ➤ 次回のトレーニング、プレゼンテーション、討論あるいは出版を発表する <p>昼食時間プレゼンテーション 個人監督（複数）あるいは主要な職員による短いプレゼンテーションはやる気を高める教育的ツールとして利用できる。そのようなプレゼンテーションで可能なものは：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 彼らの病棟/科で手指衛生問題を探す ➤ これらの問題がどのように取り組まれたか説明する ➤ 達成された改善と進行の輪郭を述べる ➤ 活動から主要な学習項目を議論する ➤ 次のステップと将来の方向を考える

活動	詳細
	<p>フォーカスグループ</p> <p>この事例におけるフォーカスグループ手技は、手指衛生実施（特に特別な適応）での彼らの個人的な理解、態度、信念および困難さを表明し、彼らに期待される行動変容の複雑性をファシリテーターと討論するため、手指衛生訓練セッションにすでに定期的に参加している医療従事者を援助することができました。フォーカスグループは、現場の毎日の実行が奨励されるように、病棟/ユニットレベルで実施されるべきです。これらのグループはファシリテーターによって管理されるべきです。ファシリテーターは、訓練された手指衛生のベテラン医療従事者で、このように理想的には他人の手本となる人であるべきです。</p> <p>組織内巡回興行</p> <p>施設は、特別に規則的（少なくとも年一回）基準で、組織化した巡回興行を考慮します。それぞれの病棟/科の特別な区域に専念して、これは毎年5月5日に一致させて：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ それらのセクションで、良き手指衛生を実演する ➤ 「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチ順守のための長期間のゴールに達するためにどのように試みているかを説明する ➤ グッド・プラクティスのポスターや情報を提示する ➤ 「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチへの改善および/あるいは順守の（非公式な）データを示す

活動	詳細
<p>経験の共有：組織外</p>	<p>手指衛生に優れている施設は、地域あるいは他の国であっても、手指衛生改善の初期段階において他の施設と経験を共有することに興味をもっているかもしれません。このようなプログラムは、「手指衛生」と「命を救う」改善の世界的な努力を助け、あなた方の施設のプロフィールを掲げます。</p> <p>経験を共有するためのいくつかの可能性として：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ WHO患者安全があなた方の成功を世界中の他の施設に説明するために使用できるあなた方の経験の事例研究の準備 <ul style="list-style-type: none"> ◆ これはWHO患者安全ウェブサイト(www.who.int/gpsc/5may/en/)に掲示されます ◆ テンプレート事例研究文書にアクセスするために、www.who.int/gpsc/5may/en/を訪問する ◆ 創造的に！あなた方の偉大な仕事のビデオ例を提出することを考慮する www.youtube.com で例を参照する ➤ あなた方の地方の保健当局/部門と連絡をとる、そして例えば： <ul style="list-style-type: none"> ◆ あなた方の事例研究を他の施設に示すことを申し出る ◆ 他の施設から手指衛生についてもっと学ぶためにあなたの施設を訪問するように勧める ➤ 以下を援助するためにもう一つの施設と「姉妹」施設となる： <ul style="list-style-type: none"> ◆ 手指衛生の重要性を理解する ◆ 手指衛生を改善する効果的な行動計画を作成する ◆ 全ての必要とされる資源のためのしっかりとした資金 ➤ トレーニング資材の共有 (e-ラーニング・ツールのような) ➤ 専門家に査読された原稿で手指衛生改善のデータを出版、あるいは地方、国あるいは国際的な学会にデータを提示する ➤ あなたの地域の医療専門業界誌の編集者と連絡を取る <ul style="list-style-type: none"> ◆ 彼らにあなたのゴールとあなたの成功について話す ◆ 彼らに、彼らの次の特集に入れるため、これについての記事を書くことを望んでいるかどうか尋ねる — もしそうでなかったら、あなたによって書かれた記事を受け入れるかどうか尋ねる！
<p>医療従事者のための個人的な責任 かつ/あるいは 順守の報酬</p>	<p>施設が良い手指衛生を可能にするための全ての可能な資源を提供すれば、施設はもし医療従事者が順守しなければ、医療従事者は個人的に責任があるようになるかを考慮するかもしれません。</p> <p>良い手指衛生実施と「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチへの順守の認識は、動機づけにとって重要です。これは同様に、施設全体でより大きな手指衛生順守活動を奨励し、職員間の健康的な競争を刺激することができます。</p> <p>例えば、良い手指衛生がどのようにあなた方の施設で認知され(そして報われる)ことができたかを考える：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 医療従事者のための個人的目的に手指衛生を統合させることは、経歴開発に繋がりました。 ➤ 個人的な医療従事者あるいはグループによるポスター/面白い小物のような競技を計画し、(視覚効果、概念の一貫性、有用性によって)最高のものを裁定する。 ➤ 5月5日に、「私の手指衛生の5つの瞬間」アプローチへの良き順守を行っている主要な職員/チーム/病棟/科を認識し感謝するイベント <ul style="list-style-type: none"> ◆ これには授賞式を含めることができる ➤ 組織内ニューズレターあるいは公式/非公式の会合で発表